

活動紹介



= 夏休み子ども早朝観察会 =

7月30日(日)夏休み子ども早朝観察会がおこなわれ、小・中学生19名、幼児・保護者21名を迎えて公園内外を観察しました。特に公園の外での昆虫採集は楽しかったようで、炎天の下、トンボやバッタとの真剣勝負がくりひろげられました。園外で採取した昆虫は家の人へのお土産に持って帰る子どももいて「優しく飼育してくださいね。死んだら標本にして何度でも観察してみましょ。昆虫の命を大事にして下さい」とレンジャーからのアドバイスを受けていました。

= お話にクイズ、楽しいものをつくりよるよぉ～ =

ショートプログラムチームでは、子どもたちにもっと野鳥に親しみを持ってもらおうと、新しい作品作りを始めました。スズメやツバメ、ヒバリなど昔から人間の生活とも深い係わり合いを持つ身近な野鳥についてクイズあり、お話あり、一部視聴者参加もできるなどいろいろ楽しい組み立てとなっています。

10月29日(日)に開催予定の「きらら浜自然観察公園ふれあいまつり」で初上演の予定です。



= カムルチーVS環境サポートチーム =

いつの頃からか公園に入り込み繁殖を続けている外来魚、カムルチー。日本では通称「雷魚」とよばれている。東アジアに生息する淡水魚で、国内には20世紀初頭に持ち込まれ全国にひろまった。公園でも隣接する調整池から侵入し、淡水池やヨシ原での繁殖を確認。肉食で園内の水生生物に多大な影響を与えることから、活動期をむかえるこの時期に捕獲作戦を実施することになった。過去には淡水池で刺し網を用いて捕獲していたこともあったが、ヨシ原ではこの方法が使えないため、今回は釣針をクリークのところどころに設置しカムルチーの喰み付きを待つ。公園の環境保全に眼を光らす環境サポートチームにとって対カムルチー作戦で今夏は一段と熱い夏となりそうだ。

= 新調Tシャツご紹介 =

今秋、創立15周年を迎える葦の会は、記念事業の一環として活動時に着用するTシャツを新調しました。主に夏使用を考えて吸水性のいい綿製品にしました。公園のイベント時や、会でお出掛けのときなどに着用します。Tシャツ姿を見かけられたら声をかけてください。お得な情報が得られるかも?!

